

税金はハコモノより暮らし・福祉に

市民に寄り添う水戸市政へ

やはぎ陽一候補が第一声



やはぎ陽一市長候補は告示日の14日、水戸駅南口・さくら東公園で力強く第一声。集まった150人を前に、巨大・巨額の市民会館計画の見直し、東海第2原発の再稼働反対、暮らし・福祉優先の新しい水戸市政を熱く語り、支持を訴えました。訴えの要旨を紹介します。

立候補の表明以来、たくさんの方から大きな期待をいただき、なんとしても市長に当選しなければという気持ちが日々強くなっております。ご支援をよろしくお願いいたします。

市民会館計画一白紙に戻し安く、早く

市民会館に320億円、東京ドームにも匹敵する大きなお金を使ってつくろうとしています。最初の計画は68億円でした。市がもっている土地につくればもっと少ないお金でできるはずです。しかも2000名の大ホール、市民がなかなか使えない。こんな税金の使い方をしては、水戸市の発展、市民の暮らしに役立つことができません。

今回、市民会館は市民の声を聞いて決めるべきと運動をされてきた方々から要請され立候補を決意いたしました。あの無謀な市民会館計画をまず白紙に戻し、市民が使いやすい、安い費用でできる市民会館を早くつくりたい。

ハコモノをつくれば中心市街地が活性化する、そんなことはありません。活性化するには、人が集まり、買い物をする、飲食もする、そういう仕組みをつくることです。市役所の職員、お店を営んでいる方々、買い物をするみなさんが知恵を集めれば、必ず活性化に役立つ方法は見つかります。

新安全協定生かし再稼働反対を表明

東海第2原発は30キロ圏内に96万人、日本で最大の過密地域にある原発です。水戸市はすっぽり入ります。重大事故がおきたら市民全員が避難しなければなりません。こういう危険から市民の安全、暮

らしを守るのは市長の責任です。私はきっぱり再稼働には反対します。

周辺6市村は日本原電と安全協定を結び、実質的な事前了解権が認められています。水戸市だけでも再稼働に反対すれば再稼働はできません。これを生かし、私は水戸市長として責任をもって再稼働を止めていきます。

市民にやさしい税金の使い方に

水戸市は大好きな街ですが、暮らしの面では残念な状態になっています。学校改修が遅れています。国保税が値上げされ、払えない人が続出し、強制的に差し押さえして取り立てまでやっています。4大プロジェクトには1000億円というお金を使いながら、市民の暮らしは後回しにされているのが実態です。私は市の予算を使ってやろうと思えばいろいろなことができます。学校給食を完全に無料化します。デマンドタクシーを導入してお年寄りが中心市街地に買い物にいけるようにする。中心市街地の活性化にも役立ち、お年寄りの生きがいにもつながります。市民のやさしい税金の使い方をしようと思えばいくらでも方法があります。

憲法を市政のすみずみに生かして

私は35年間、弁護士として弱い立場に置かれた方々の力になる仕事をしてきました。個人の尊厳を何よりも大事にする憲法のところを市政のすみずみに生かして、市民が大事にされる市政をつくりたい。私、やはぎ陽一をぜひ水戸市長として働かせていただきたい。最後までのご支援をお願いいたします。



未来にはばたく
水戸の会ニュース

2019年4月15日
水戸市白梅3-9-7
白梅ビル1階
電話231-6250
FAX231-6252

【部内資料】